

## キズ・へこみの補修方法

補修箇所の周りにマスキングテープを貼り、十分水打ちし、余分な水分を拭き取ってから練った材料を塗り込んでください。そして、マスキングテープを取った後、周辺となじむようきれいな指でぼかしてください。なお、完璧な補修が難しい材料であることをあらかじめご承知おきください。

※水打ちせずに、水練りした材料で補修すると、急激に吸水されて、硬化不良（ドライアウト）や色変わりを起こします。

## ヘアークラックの補修方法

※完璧な補修が難しい壁材です。その点をあらかじめご了承ください。

### 〈粉末タイプ〉の場合

仕上材を水練りして固めたものを細かく砕き、ふるい（60メッシュ）にかけた粉を、きれいな指、あるいは、ガーゼやストッキングに包んでヘアークラック部分にすり込み、その後、粉が少し湿る程度に霧吹きで水を軽く吹きかけてください。乾燥後、クラックがまだ目立つようであれば、補修作業をくり返し施してください。

※白系の品番は、固めずにそのままの粉を使います（顆粒入りの場合は、ふるいにかけて顆粒を抜いた粉を使用）。

### 〈ペーストタイプ〉の場合

ヘアークラックの部分を霧吹きなどで十分湿らせた後、同じ材料をきれいな絵筆などで塗り込み、周辺となじむようきれいな指でぼかしてください。乾燥後、クラックがまだ目立つようであれば、補修作業をくり返し施してください。

※顆粒入りの〈PZ〉場合は、目の細かいネットなどで顆粒を取りのぞいたもので補修してください。

## 全面塗り替えの方法

さまざまな理由により、全面塗り替えが必要となった場合は、硬化不良（ドライアウト）を防ぐために、施工面に水性シーラーを塗布して吸水を抑える必要があります。

### 1 全面に水性シーラー塗布

水性シーラーは塗りムラがないよう、均等に塗布してください。（13ページの塗り方参照）

極端な塗りムラは、色ムラの原因になります。

乾燥

### 2 下塗り

クラックがある場合はクラック部分にファイバーテープを貼って補強してください。

乾燥

### 3 仕上げ塗り

アクやシミが原因で全面塗り替えをする場合は  
**アクが出ていないかチェック**

『下塗り』乾燥後に、アクやシミが出ていないことを確認してから、『仕上げ塗り』をしてください。

アクが出た場合は、再度下塗りをしてアクを止めてください。